



# QuarkXPress 2015の新機能

# 目次

QuarkXPress 2015の新機能.....	3
<b>新機能</b> .....	<b>4</b>
64ビットアプリケーション.....	4
コンテンツ変数.....	4
インラインテーブル.....	5
脚注と文末脚注.....	5
ePub用の固定レイアウト.....	6
その他の新機能.....	7
<b>法律上の注記</b> .....	<b>9</b>

# QuarkXPress 2015の新機能

本書では、QuarkXPress 2015の新機能を紹介します。

# 新機能

## 64ビットアプリケーション

QuarkXPress 2015は64ビットアプリケーションで、QuarkXPress 10.xよりも拡張性とメモリ管理が強化されています。

## コンテンツ変数

QuarkXPress 2015ではコンテンツ変数がサポートされています。これはドキュメントに挿入するアイテムで、コンテキストに応じて値が変化します。たとえば、**最後のページ番号**変数は、ドキュメントの最後のページのページ番号を表示します。ページを追加または削除すると、それに応じて変更が更新されます。

コンテンツ変数は、印刷、電子書籍、App Studioのすべてのレイアウトタイプで使用できます。

変数を追加するには、変数を表示させる場所にカーソルを置き、パレット内の変数をダブルクリックします。また、QuarkXPressの組版ツールを使用してスタイルを指定することもできます。

QuarkXPress 2015には、下記のプリセットコンテンツ変数が含まれており、ドキュメントに挿入できます。

- 作成日
- 現在のページ番号
- ファイル名
- 最後のページ番号
- 変更日
- 出力日
- 次のページ番号
- 前のページ番号

定義済みの変数のセットに加えて、以下のようなテキストタイプの追加変数を作成できます。

- カスタム変数：テキスト文字列を他の定義済み変数と組み合わせることができます。
- 継続ヘッダー：この変数タイプは、ドキュメント内で段落または文字のスタイルシートを参照し、ソースデータを選択するために使用します。この変数タイプをマスターペー

ジに適用して、継続ヘッダーを自動的に更新できます。たとえば、左側のページに書籍のタイトルを、右側のページにチャプター／セクションのタイトルを表示できます。

- ページ参照：この変数は、既存のアンカー機能を使用して既存のレイアウトオブジェクトへの参照を作成します。このオブジェクトはドキュメント内のどこからでも参照でき、参照先のオブジェクトのページ番号を含めることもできます。
- スタティックテキスト：単純なスタティックテキスト変数を作成し、ドキュメントのどこにでも挿入できます。たとえば、ドキュメント全体で同じ企業名を参照し、それらの企業名を同時に変更するような場合は、この変数を使用すると便利です。

## インラインテーブル

QuarkXPress 2015には、新しい高速なインラインテーブルサポートが導入され、Microsoft Excelワークブック（XLSXフォーマットのみ）からテーブルを挿入できます。

QuarkXPress 2015では、**テーブルスタイル**パレットを使用してテーブルスタイルを追加、編集、削除できます。テーブルの取り込み時には、**テーブルスタイル**ドロップダウンメニューから、インラインテーブルに適用するテーブルスタイルを選択できます。

インラインテーブルのデータはソースフォーマット、すなわちテーブルにリンクされている.xlsxファイルでのみ編集できます。このため、テーブルのデータや列の幅などを編集するには、リンクされているExcelワークブックを開いて変更を行う必要があります。ただし、作成された後のテーブルスタイルはQuarkXPressで編集できます。**補助 > 使用状況**を使用して、画像の更新と同様の方法でテーブルデータを更新できます。

インラインテーブルを取り込むとき、定義済みのテーブルスタイルを選択して、Excelワークブックから取り込むデータ／テーブルへ適用できます。テーブルスタイルを選択しない場合、QuarkXPressでサポートされている書式設定に基づいて、テーブルスタイルおよび対応する段落スタイルが自動的に生成されます。Excelワークブックの書式設定を保持し、その書式設定と合致するインラインテーブルのスタイルを生成できます。また、ジオメトリ（列の幅のみ）を維持することもできます。

テーブルをテキストボックスに自動的に収めることを選択でき、テキストボックスのサイズを変更すると、テーブルの列がボックスに合わせた比率に自動的に広げられます。

## 脚注と文末脚注

QuarkXPress 2015では脚注と文末脚注のサポートが追加され、Microsoft Wordドキュメント（DOCX形式）から取り込むこともできるようになりました。

脚注と文末脚注は、2つのリンクされた部分で構成されます。テキストに表示される参照番号と、テキストの下端に表示される脚注／文末脚注テキストです。脚注テキストはページの最後に、文末脚注テキストはストーリーの最後に作成されます。

脚注と文末脚注を挿入／削除すると、テキストへの追加、またはテキストからの削除のときに自動的に番号が振られます。新しいストーリーごとに最初から番号が振られます。

デフォルトの脚注と文末脚注のスタイルがあり、コンテンツメニューのオプション／ショートカットから挿入できます。またQuarkXPressの他のスタイルと同様に、デフォルトの脚注と文末脚注のスタイルを編集することも、カスタムスタイルを作成することもでき、箇条書きや番号付きスタイルを使用して、脚注マーカーのスタイルと脚注テキ

ストの番号付けを定義することもできます。脚注スタイルを使用すると、段落スタイルシートを定義して、脚注テキストへ適用できます。

**参照に戻る**を使用して、脚注／文末脚注テキストを、親テキスト内の対応する脚注／文末脚注の参照へ移動できます。**参照へ戻る**のショートカットも利用できます。

**脚注／文末脚注へ移動**を使用すると、親テキスト内の脚注／文末脚注の参照から、脚注／文末脚注のテキストへ移動できます。

QuarkXPress 2015では下記の機能もサポートされています。

- 番号付きリストと同様に、ページレベルで脚注の番号を振り直す、および手作業で番号を振る。
- 複数の列を持つテキストフローに脚注を作成し、各列の下端に脚注が表示されるようにする。
- プロジェクト間で脚注スタイルを追加する。
- 個別のテキストボックス（自動テキストボックス以外）に脚注を適用し、テキストボックスの下端に脚注が表示されるようにする。
- 脚注／文末脚注の参照番号として任意の記号を使用する。
- 適用された脚注／文末脚注を**脚注スタイルパレット**から変更する。
- 親テキストと脚注／文末脚注テキストとの間に、脚注／文末脚注セパレータスタイルを適用する。これはボックスレベルで適用されるため、ユーザーはそれぞれのボックスや、同じストーリー内の別のボックスに、別のセパレータスタイルを適用できます。また、ユーザーは**スタイル > 脚注セパレータのスタイル**を使用して、別の脚注セパレータスタイルを適用できます。ユーザーは、脚注セパレータスタイルの左と右のオフセットも定義できます。
- 脚注を文末脚注に、または文末脚注を脚注に変更する。
- 文末脚注を同じページ、ストーリーの終わりの直後、新しいページのどこから始めるかを選択する。
- 脚注／文末脚注のコピーアンドペースト。
- 検索／置換を使用して脚注／文末脚注を検索する。
- ショートカットにより、および**脚注スタイルパレットのカスタムの脚注／文末脚注**ボタンから脚注／文末脚注を適用する。

➡ それぞれの脚注テキストは別のストーリーであるため、すべての脚注テキストをまとめて選択することはできません。

### ePub用の固定レイアウト

QuarkXPress 2015には、ePub作成用の固定レイアウトのサポートが導入されました。これによって、KindleおよびiOSデバイスでサポートされている固定レイアウトのePub形式をデザインし、書き出すことができます。

ePub用の固定レイアウトには、下記の機能があります。

- **新しい電子書籍レイアウトスペース。** QuarkXPress 2015には新しい電子書籍レイアウトスペースが導入されています。これは、リフローePubの書き出し機能が制限されていた従来の電子書籍レイアウトに替わるものです。新しいレイアウトスペースは、ePub 3.0標準に基づいた固定レイアウトのePubデザイン、およびリフロー可能な電子書籍の作成をサポートしています。新しいレイアウトスペースは、HTML5のサポートと、固定レイアウトのePubにオーディオ、ビデオ、スライドショー、アニメーション、360° 画像、ボタンなどのインタラクティブ機能を追加するオプションなど、App Studioの多くの機能を引き継いでいます。
- **新規プロジェクトダイアログ。** 電子書籍用の新しいプロジェクトダイアログが拡張され、対象のデバイスやカスタムサイズを選択できるようになりました。QuarkXPress 2015では、ユーザーがカスタムサイズを保存できるため、**新規プロジェクトダイアログ**から選択して再利用できます。
- **豊富なレイアウト機能。** 新しいレイアウトスペースで固定レイアウトePubがサポートされるため、印刷およびApp Studioレイアウトスペースで利用可能な豊富なデザイン機能を使用できます。たとえば、無制限のスタイルシートを作成でき、印刷またはApp Studioレイアウトからのスタイルシートも使用できます。同様に、カラー、アイテムスタイル、脚注スタイルなどの他のリソースを、印刷や電子書籍のレイアウトで共用することもできます。QuarkXPress 2015の固定レイアウトePubでは、CJKの縦組み／横組み、右から左へのページフロー、およびルビ文字がネイティブのHTMLでサポートされます（これらの言語をサポートできるすべてのHTMLで）。また、高度なイメージ制御を使用して、固定レイアウトのePubでも、印刷レイアウトと同様に画像を扱うことができます。画像はePub書き出しのオプションにより、ダウンサンプリングできます。
- **リスト。** QuarkXPressのリスト機能を使用して、固定レイアウトePubとリフローePubの両方の目次を生成できます。
- **HTML5。** 電子書籍レイアウトスペースの新しいHTML5パレットでは、簡単で直感的なユーザーインターフェイスにより、固定レイアウトePubやリフローePubにインタラクティブ要素を追加できます。対象のデバイスや出力形式（ePubおよびKindle形式）でサポートされているインタラクティブ機能に基づいて、これらのインタラクティブ要素を書き出し時に自動的に除外できます。固定レイアウトePubでは、オーディオ、ビデオ、スライドショー、アニメーションのすべてがサポートされています。
- **リフローのタグ付け。** QuarkXPress 2015では、ユーザーが固定レイアウトePubを作成し、同じレイアウト要素を使用してリフローePub用のタグ付けを行えます。すなわち、ユーザーは1つのレイアウトを作成して、固定およびリフローePubの両方に書き出すことができます。さらに、印刷およびApp Studioレイアウトの両方からリフローのタグ付けが可能です。
- **ePub／Kindleへの書き出し。** QuarkXPress 2015では、下記の書き出しオプションが提供されます。

- 1 ePubとしてレイアウトし、iOSデバイス用の標準ePub形式へ書き出す。
- 2 Kindleとしてレイアウトし、Kindle Fireデバイスへ書き出す。

## その他の新機能

QuarkXPress 2015には、次のような新機能と機能拡張も含まれています。

- 簡単なアクティブ化プロセス。

- リフローePubの拡張： QuarkXPress 2015では、 QuarkXPressのレガシーバージョンでサポートされているリフローePub機能のすべての制限が拡張および解除されています。 また、 App Studioで提供されているのと同じHTML5パレットを使用して、 ePub 3.0標準に対応する特定の種類のインタラクティブ機能をePubレイアウトに追加できます。
- PDF/X-4： QuarkXPress 2015からPDF/X-4ファイルを作成でき、 callasのpdfToolboxテクノロジーにより検証されます。
- **使用状況**ダイアログから画像を再リンクする： 既存の画像（状況が **OK**のもの）を、 **使用状況**ダイアログの**更新**ボタンを使用して置き換えや再リンクできるようになりました。
- 形式ペインター： 選択したテキストから形式（スタイル属性）を抽出し、ドキュメントの他の場所にあるテキストへ適用できます。
- 書き出し後にPDFを開く： 書き出し後にPDFを開くことを選択できます。
- より大きなページサイズ： 従来より大きなページサイズを選択できるようになりました（224インチ×224インチまで）。
- カスタムのショートカットキー（Mac OS Xのみ）： 新しいアプリケーションレベルの環境設定により、既存のキーボードショートカットキーを変更でき、選択したメニューやメニュー以外のアイテムについて新しいキーボードショートカットを定義できるようになりました。
- パレット内の検索： 選択したパレットに新たに検索機能が加わりました。たとえば、スタイルシートやカラーを名前で検索できます。この検索機能は、スタイルシート、カラー、ハイパーリンク、コンテンツ変数のパレットで使用できます。
- QuarkXpress内でのパレットのドッキング（Windows）： Windowsユーザーが、Mac OS Xユーザーは従来から使用可能であったものと同じ、アプリケーションのコーナーにパレットをドッキングする機能を使用できるようになりました。これによって、ワークスペースを整理し、ドキュメントがパレットで覆われるのを防ぐことができます。
- カスタムの名前付きレイアウトサイズ： 印刷および電子書籍レイアウトに、カスタムのサイズを保存できるようになりました。このオプションは、**新規プロジェクト**ダイアログで使用できます。
- プロジェクトレベルのCFO： CFO（出力ファイルの収集）機能が拡張され、プロジェクトレベルのCFOがサポートされるようになりました。**出力ファイルの収集**ダイアログで、プロジェクト内の単一、複数、またはすべてのレイアウトを選択できます。
- 画像の拡大： 画像を5000%まで拡大できるようになりました。
- **使用状況**ダイアログにはファイル名のみが表示されるようになり、使用状況リストに収まるように長い名前が切り捨てられることはなくなりました。画像やExcelテーブル名をクリックすれば、フルパスの詳細情報を見ることができます。
- PDF出力スタイル： デフォルトのPDF出力スタイルが更新され、PDF/X-4用の新しい出力スタイルが追加されました。
- ECIカラープロファイルのサポートの追加。
- ユーザー辞書が拡張されました。XMLフォーマットになり、ジョブジャケットと統合可能で、レガシー辞書は自動的に変換されます。

詳しくは、『QuarkXPress 2015ガイド』または  
[www.quark.com/support/documentation](http://www.quark.com/support/documentation)を参照してください。

# 法律上の注記

©2022. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他の各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

当ソフトウェアアプリケーションまたはユーザーのドキュメントに表示されるPantone® Colorの表示は、PANTONE標準色とは合致しない場合があります。正確な色については最新のPANTONE色見本帳を利用してください。PANTONE®およびその他のPantoneの商標は、Pantone LLCに帰属します。© Pantone LLC, 2010が著作権を有します。

カラーデータおよび/またはソフトウェアの著作権は、Pantoneが所有しています。Quark Software, Inc.はライセンスに基づき、Quarkソフトウェアとの併用に限定して配布を許可されています。Quarkソフトウェアによる作業の一部でないかぎり、PANTONEカラーデータおよび/またはソフトウェアをディスクまたはメモリに複製することは禁じられています。